

経営戦略 改定の趣旨

・国の方針

総務省公表資料「経営戦略策定・改定ガイドライン」では「『経営戦略』は、各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である。

その改定に当たっては、一定期間（3～5年毎）の成果の検証・評価したうえで、より質の高い経営戦略にすること」と記されています。

・本市の経営戦略

合志市下水道事業経営戦略は、2019（平成31）年3月に策定し5年が経過しました。その間、市経営戦略に基づき、下水道使用料の改定や広域化の取り組みを実施し経営基盤の強化等を図ってまいりました。しかしながら、検証・評価を行った結果、当初の計画にはなかった、須屋浄化センター水処理施設解体工事の実施等の新規の取り組みにより、投資・財政計画（収支計画）が大きく乖離していることが判明しました。

今後も、市民の皆さまに下水道サービスを持続的・安定的に提供していく指針とするため、現状を反映し、経営戦略の改定を行いました。

・計画期間

2019年度（平成31年度）から2031年度（令和13年度）までの13年間です。

使用料収入の見込



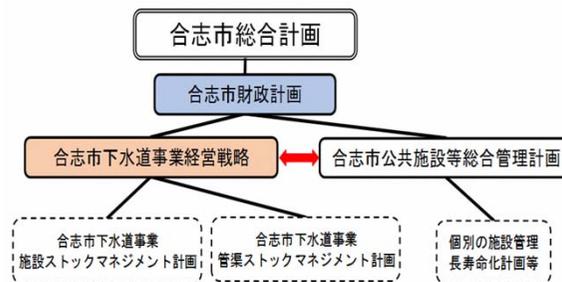
・収益の柱である下水道使用料については2019年度（平成31年度）に10%、2023年度（令和5年度）に10%の改定を実施しました。また、2027年度（令和9年度）10月に10%の下水道使用料の増額改定を前提として、投資・財政計画（収支の見込み）を立てています。

経常収支比率の見込



・経営の効率化及び下水道使用料の増額改定を行うことで、合志市の3事業全体の経常収支比率は左グラフのように100%超で推移するものと見込んでいます。
・収支比率向上の大きな要因として、合志市の水洗化人口（下水道へ接続する人口）の増加による収入増を見込んでいます。

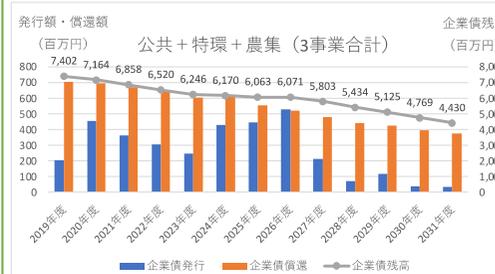
経営戦略の位置付け



本戦略は、本市の最上位計画である「合志市総合計画」及び「合志市財政計画」を下支えする計画のひとつです。

また、関連する国・県や本市の他計画と整合性を図っています。

企業債の見込



・合志市の3事業全体の企業債借入、償還及び残高は左グラフのように減少するものと見込んでいます。

（注）地方公営企業が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務を公営企業債といいます。公営企業債は返済の必要がある借り入れ（借金）です。

経営の基本理念と3つの基本方針

【基本理念】

経営環境の変化に適切に対応し、知恵と工夫により業務の改善を図り、市民に安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供します。

【3つの基本方針】

- （1）経営基盤の強化を図ります。
- （2）経営の合理化に努めます。
- （3）危機管理体制の強化に努めます。

累積欠損金の見込



・経営の効率化及び下水道使用料の増額改定を行うことで、合志市の3事業全体の累積欠損金は左グラフのように毎年度減少し、2031年度（令和13年度）に解消するものと見込んでいます。

（注）累積欠損金は、各事業年度において発生した赤字を繰越利益剰余金等で補てんできなかった累積の赤字のことを示します。